

No.232

夏休みが終わり、楽しみにしていた秋の大型連休。行楽へでかけたり、ゆっくりお家で過ごしたり、それぞれのシルバーウィークを過ごされたかと思えます。次に待つのは、日本の山々を彩る紅葉の便り。季節はさわやかな秋へと移り変わっています。

今月のレビューは、品質に関するお話です。

私たちは、お客さまに満足していただける製品をつくり、その品質には自信を持ってお届けしています。そんな私たちの思いを託した標語が、この度、第50回品質月間「品質標語」に入選しました。入選したのは、鹿島製鉄所第一薄板工場の大澤昭平氏の作品です。

私たちのものづくりに対する思いを感じてもらえたら幸いです。

● 極める品質 高める技術 こだわる心で得られる信頼
<鹿島製鉄所第一薄板工場 大澤氏の「品質標語」が入選>

第50回品質月間「品質標語」に、鹿島製鉄所第一薄板工場の大澤昭平氏の作品「極める品質 高める技術 こだわる心で得られる信頼」が入選しました。品質月間とは、品質意識を高め、品質管理活動を広めるため、毎年11月に1960年より実施している全国的な運動です。例年、品質標語と川柳の募集しており、本標語は応募数3455件の作品から選ばれた5件のうちの1件として入選しました。私たちの鹿島製鉄所では、4年前から、全所内で集められた作品を応募していますが、全国から、毎回素晴らしい作品が多数応募されていることもあり、入選は今回が初となりました。



鹿島製鉄所 第一薄板工場
大澤 昭平氏

入選者の大澤氏は2005年に入社し、第一薄板工場で、品質検査業務を担当しています。

第一薄板工場は、主に自動車ボディの内側の薄板などに使用されている溶融亜鉛めっき鋼板を製造しています。

大澤氏は、お客さまの厳しい品質要求にお応えできるよう、めっきされた鋼板の表面を、自分の目で確認をするという、きめ細やかな品質管理を実施しています。その技術は「まだまだ未熟」との本人評ですが、身をもって実感している品質管理の大切さが、今回の作品に表現されました。

本標語には、諸先輩方が育んできた技術と品質に対する思いを受け継ぎ、向上させ、お客さまにもっと満足していただける製品をつくり、職場全員で躍進しようという思いが込められています。

大澤氏の標語を含めた入選標語5作品は、今期の品質標語ポスターに使われ、刊行されるテキストへの収録や、全国主要都市で開催される特別講演会での掲示など、全国規模で展開される予定です。

私たちは、これからもこの標語に込められた思いをもって、一人ひとりが品質意識を向上させ、品質を改善し、信頼される製品づくりを目指します。